



宮古島 ('23.3 駐屯地開設)

〈配備状況・軍事化〉

- 地対艦ミサイル
- 地対空ミサイル
- 警備部隊
- 警戒管制レーダー



千代田駐屯地前での住民の訴え“ミサイル基地はいらない！”

千代田駐屯地の地盤は非常に軟弱にもかかわらず、80tの燃料タンク7基が施設されています。地下水に頼っているため、一部でも汚染されると島全体で水が使えなくなります。当然のように地下水への影響の調査は一切なされていません。

石垣島 ('16.3 駐屯地開設)

〈配備状況・軍事化〉

- 地対艦ミサイル
- 地対空ミサイル
- 警備部隊
- 中国本土を射程内とするミサイルの配備



島の最高峰・於茂登岳（おもとだけ）の麓にある駐屯地



海が綺麗でした

島の水源地帯に駐屯地が作られています。

水源汚染による農業・生活への影響が懸念されますが、未調査です。



訓練場入口から奥にある集落の公民館が見える

建設中の弾薬庫（手前の緑の丘）と射撃場（奥の細長い建物）

保良訓練場には、2基の弾薬庫の外、有事の際シェルターとして利用できる射撃訓練場が建設され愛知研。

シェルターは、自衛隊員とその家族のためのもので、住民は基地から見えるほど近い位置の集落の公民館に避難するしかありません。住民のいのちがいかに軽く扱われているかがよく分かります。

私たちに必要なこと

自分の生活空間のすぐ隣に弾薬庫が置かれ、集落の避難所となっている公民館からは基地での射撃訓練の音が聞こえる、それが先島諸島の住民の生活です。先島諸島の人々は、自らの生活拠点が中国への攻撃・中国からの反撃に備えて作り変えられていることを肌で感じています。

今、島外に住む私たちに求められることは、その現状を学び、気持ちをリアルに想像し、戦争で捨て石とされる怒り・理不尽さを共有することです。